
**令和7年度 第6回
希望郷いわてモニターアンケート**

岩手県庁舎の再整備に関する意識調査

令和7年10月

岩手県総務部管財課

実施概要

実施概要

- ・ 実施概要は、以下のとおり。

目的

- ・ アンケートを実施することにより、現在の県庁舎に対する印象を把握するとともに、県庁舎の再整備にあたり県民が期待していること、基本理念の実現のために重要と考える項目について調査を行い、県庁舎に導入する機能等の検討の参考とするもの。
- ・ また、再整備のプロセスにおける県民参加の意欲や方法について調査を行い、今後の情報発信や検討プロセスの参考とするもの。

方法

- ・ 希望いわてモニター制度の活用

対象者

- ・ 令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

スケジュール

- ・ 9/3(水)～9/17(水) : アンケート回答期間
- ・ 9/24(水)～10/2(木) : 集計・分析

岩手県庁舎の再整備に関する意識調査

岩手県総務部管財課

令和7年度 第6回

希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	岩手県庁舎の再整備に関する意識調査
-----	-------------------

令和7年9月

岩手県総務部管財課

I 趣旨

県では、築60年が経過し、耐震性能の不足や老朽化が課題となる県庁舎の再整備を検討しております。将来に渡り安心して利用できる県庁舎であり続けるために、災害対応や環境配慮、働き方の変化への対応など、時代の変化に対応できる庁舎づくりが重要な課題となっています。

今年度は、県庁舎の再整備に向けた第一歩として「基本構想」を策定しています。基本構想は、再整備の目的や理念、必要な機能、整備費やスケジュールについて検討を行い、再整備事業の基礎となる考え方を示すものです。

そのため、今回のアンケートでは、現在の県庁舎に対する印象や利用状況、再整備にあたって重要だと感じる考え方や機能、整備に対する関心などについて、県民の皆さまからのご意見やご期待について幅広く伺いたいと考えております。

お寄せいただいたご意見は、今後の基本構想の検討において、県民の視点を反映するための貴重な資料として活用させていただきます。

II 設問（以下の設問について、別紙回答用紙の該当欄にご記入願います。）

問1 あなたの年齢、性別、居住地を教えてください。

(1) 年齢

- ① 20代（10代も含む）
- ② 30代
- ③ 40代
- ④ 50代
- ⑤ 60代
- ⑥ 70代以上

(2) 性別

- ① 男性
- ② 女性
- ③ その他
- ④ 答えたくない

アンケート質問書 2/4

- (3) 居住地
(市町村名：)

問2 現在の県庁舎についてお伺いします。

- (1) 現在の県庁舎の印象について教えてください。(最大3つまで選択可)

- ① 県のシンボル性を感じる
- ② 歴史を感じる
- ③ 親しみがある
- ④ 訪れやすい
- ⑤ 近寄りやすい
- ⑥ 閉鎖的
- ⑦ 特に印象はない
- ⑧ その他 ()

- (2) これまでに岩手県庁舎を訪れたことはありますか。

- ① ある
- ② ない

※問2(3)～(5)は、問2(2)で「①ある」と回答した方のみ回答してください。

- (3) 訪れた目的をお選びください。(複数回答可)

- ① 行政手続き・相談・要望(個人)
- ② 行政手続き・相談・要望(企業、団体等)
- ③ 県議会の傍聴
- ④ 県が主催する会議の傍聴
- ⑤ イベント・セミナー等
- ⑥ 仕事・業務・会議等
- ⑦ 観光・見学
- ⑧ 県庁舎内の売店・食堂・その他店舗の利用
- ⑨ 休憩・バス待合等
- ⑩ その他 ()

- (4) 来庁頻度を教えてください。

- ① 週1回程度
- ② 月1回程度
- ③ 年1回程度

- ④ 2～3年に1回程度
- ⑤ 4～5年に1回程度
- ⑥ それ以下

- (5) 庁舎内で不便に感じたことはありますか。(最大3つまで選択可)

- ① 案内が分かりづらい
- ② 建物が古くて使いづらい
- ③ バリアフリー対応が不十分
- ④ 駐車場が狭い
- ⑤ 交通アクセスが悪い
- ⑥ 暑い・寒い
- ⑦ 暗い
- ⑧ 特に無い
- ⑨ その他 ()

問3 県庁舎の再整備にあたっては、事業の基本的な考え方を示す「基本理念」について、「防災」、「環境」、「協働」、「働き方」の4つの観点で作成することを検討しています。

基本理念(案)をご覧ください、それぞれの基本理念の実現に向けて、県及び県庁舎に期待する役割や機能を選択してください。

【参考資料の掲載先(第2回岩手県庁舎再整備懇話会資料)】

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/kanzai/1086864/1086867/1087655.html>

トップページ > 県政情報 > 管財・庁舎管理 > 岩手県庁舎再整備 > 岩手県庁舎再整備懇話会 > 第2回岩手県庁舎再整備懇話会



QRコードを読みいただくと、参考資料が掲載されたHPを御確認いただけます。

- (1) 防災に係る基本理念(案)の実現に向けて、県及び県庁舎に期待する役割や機能を選択してください。(最大3つまで選択可)

【防災に係る基本理念】
「平時から地域の防災力向上を牽引し、あらゆる災害に迅速かつ的確に対応できる安全・安心な庁舎」

- ① 庁舎の耐震性能
- ② 発災後の業務継続性能（BCP 性能）
- ③ 防災拠点としての充実した災害対策本部機能
- ④ デジタル技術を活用した防災 DX の取組による災害対応力の向上
- ⑤ 防災教育等を通じた防災意識や防災力の向上に資する機能
- ⑥ その他（ ）

(2) 環境に係る基本理念（案）の実現に向けて、県及び県庁舎に期待する役割や機能を選択してください。（最大3つまで選択可）

【環境に係る基本理念】

「未来の環境変化を見据え、脱炭素や環境共生を推進する長寿命な庁舎」

- ① 建設プロセス全体（建材の製造、建設、運用、解体まで）でのカーボンニュートラルへの取組
- ② 運用段階でのエネルギー消費量の削減
- ③ 将来の変化に柔軟に対応できる、耐久性能や更新性能
- ④ 県民の環境への関心を高める庁舎
- ⑤ 地域環境への寄与（緑化やオープンスペース、景観や生態系への配慮）
- ⑥ 将来の気候変動を見据えた、長期にわたり快適に使用し続けることができる性能
- ⑦ 次世代型太陽光発電設備等の最新技術の導入
- ⑧ その他（ ）

(3) 協働に係る基本理念（案）の実現に向けて、県及び県庁舎に期待する役割や機能を選択してください。（最大3つまで選択可）

【協働に係る基本理念】

「多様な主体が次世代を共創する、県民に親しまれ、愛される庁舎」

- ① 県、企業、大学、NPO 等が課題解決に資するアイデアやイノベーション創出を実現するためのスペース
- ② 県が主体的に課題やニーズを発信する、能動的な官民共創への取組
- ③ 障がいの有無に関係なく職員が働きやすく、来庁者も利用しやすい庁舎環境
- ④ 多様な背景や事情を持つ職員や来庁者が不自由なく働き、利用できる庁舎環境

- ⑤ 県庁舎が位置する盛岡市内丸地区の人中心の空間づくりへの貢献及び歴史を踏まえた庁舎
- ⑥ 来庁者が自由に利用できるパブリックスペースや利便施設の設置
- ⑦ 県及び市町村の情報を発信するスペースの設置
- ⑧ その他（ ）

(4) 働き方に係る基本理念（案）の実現に向けて、県及び県庁舎に期待する役割や機能を選択してください。（最大3つまで選択可）

【働き方に係る基本理念】

「職員が働きがいを実感しながら、その能力と意欲を十分に発揮し、県民サービス向上に資する庁舎」

- ① 職員のエンゲージメント（組織への共感や仕事に対する誇り、意欲を持つこと）向上に資する執務環境
- ② 県庁の魅力を上向きし、採用希望者の増加につながる庁舎
- ③ 勤務場所や勤務時間等、多様で柔軟な働き方ができる環境整備
- ④ 勤務場所を問わず、行政の質を担保する環境整備
- ⑤ 職員のアイデア創出や部局間の連携に資する執務環境
- ⑥ 課題解決や政策形成に重点的に取り組める体制の整備
- ⑦ その他（ ）

問4 県庁舎にどのような機能（スペース）があれば訪れてみたいと思いますか。（最大5つまで選択可）

- ① 岩手県の歴史・文化・自然に関する展示
- ② 防災啓発に関する展示
- ③ 共創・協働スペース
(県・企業・学生・NPO 等が共創や協働のために利用できる、コワーキング、セミナー、情報発信等を行えるスペース。)
- ④ 県政情報の発信機能
- ⑤ 議会情報の発信機能
- ⑥ 県・市町村の産業や観光情報等の発信機能
- ⑦ レストラン・カフェ等飲食スペース
- ⑧ コンビニ、物販等の販売スペース
- ⑨ 展望室
- ⑩ 屋外のオープンスペース（誰でも利用できる広場等）
- ⑪ バス待合、休憩等無目的に利用できるスペース

⑫ その他（ ）

問5 県庁舎の再整備に係る興味や情報発信についてお伺いします。

(1) 現在、県庁舎の再整備を検討していることをご存知でしたか。

① はい ② いいえ

(2) 問5(1)で「①はい」と回答した方にお伺いします。

県庁舎の再整備はどのメディアでお知りになりましたか。

① 新聞
② テレビのニュース報道
③ インターネットのニュース記事等
④ 県ホームページ
⑤ その他（ ）

(3) 庁舎の再整備に係る検討状況はどの媒体で発信して欲しいですか。(最大3つまで選択可)

① 新聞
② テレビ
③ 県ホームページ
④ 県のSNS(X/Facebook/Instagram)
⑤ 県の広報紙
⑥ 説明会の開催
⑦ その他（ ）

(4) 県庁舎の整備プロセスに参加したいと思いますか。

① ぜひ参加したい
② 機会があれば参加したい
③ あまり参加したくない
④ 興味が無い

(5) 問5(4)で「①ぜひ参加したい」又は「② 機会があれば参加したい」と回答した方にお聞きします。

整備プロセスに参加する場合、どのような方法や機会があれば参加したいと思います可。(最大3つまで選択可)

① アンケート調査への参加
② パブリック・コメントへの投稿

③ 説明会への参加

④ シンポジウム等の開催

⑤ 県民向けワークショップの開催

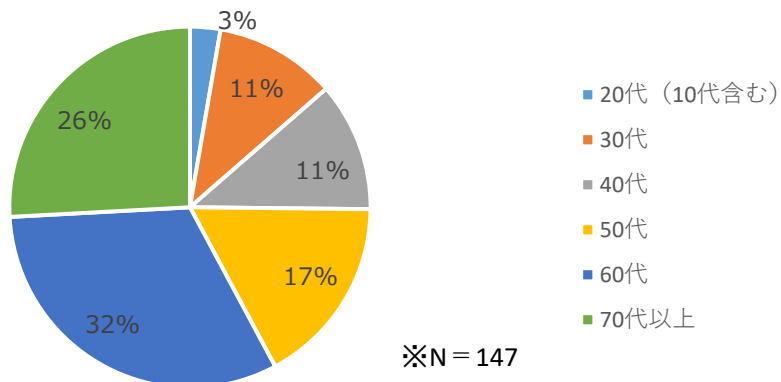
⑥ その他（ ）

問6 その他、県庁舎の再整備にあたり、ご意見等ございましたら記載願います。(自由記述)

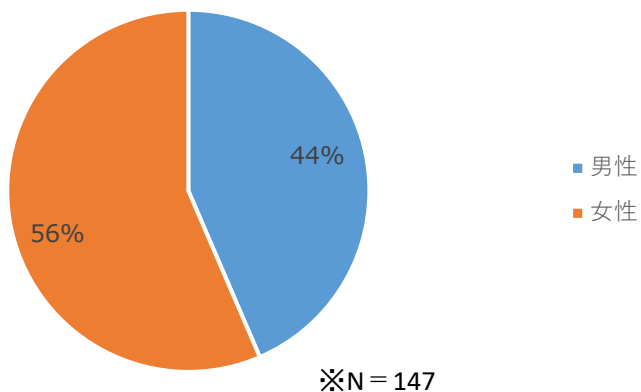
集計・分析①：問1 回答状況・回答者の属性

- 希望郷いわてモニター200名に対してアンケートを実施したところ、147名（73.5%）から回答があった。
- 若年層のモニターが少ないことから、年代にはやや偏りがあるものの、広域圏の回答数は人口構成と近似している結果となった。

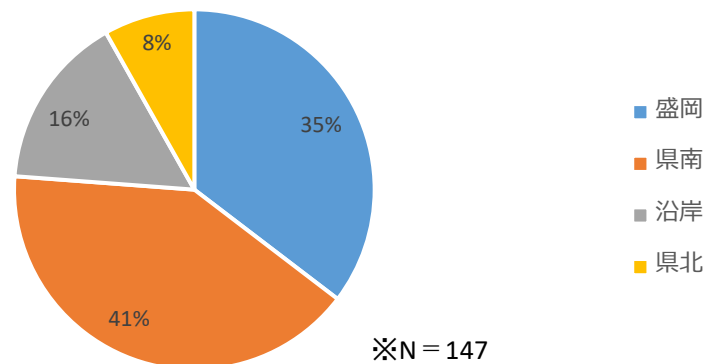
問1(1) 年代



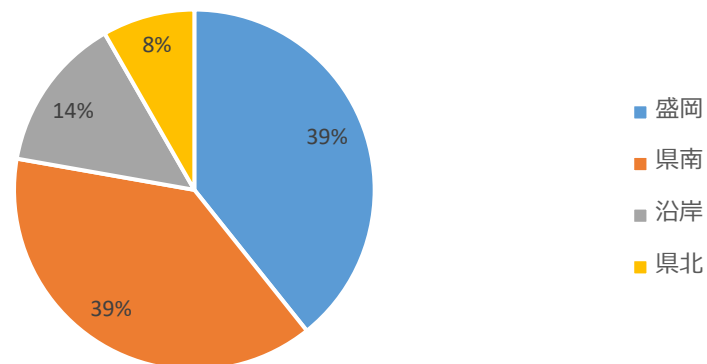
問1(2) 性別



問1(3) 広域圏ごと回答数



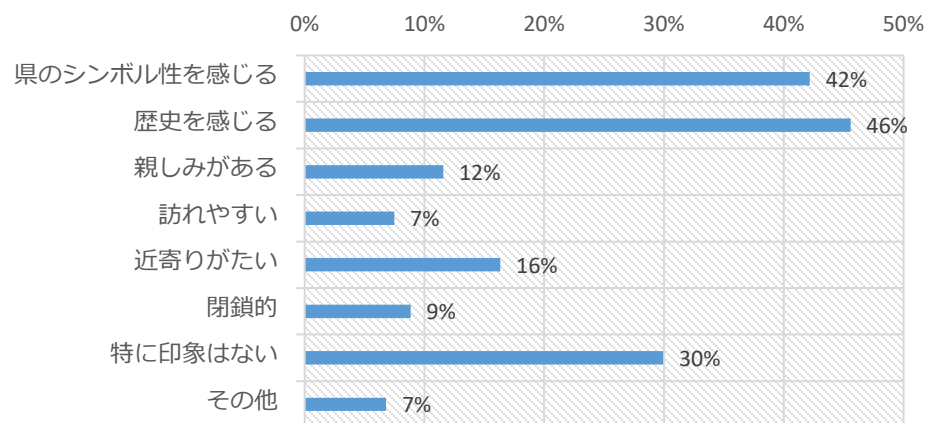
(参考)県内の広域圏別人口割合（R7.9.1時点）



集計・分析②：問2 現在の県庁舎に対する印象 1/3

- 現在の県庁舎の印象として、4割以上の方が歴史、シンボル性を感じるという回答があった。
- 訪れやすさや親しみを感じているという回答は10%程度であるのに対し、近寄りがたい、閉鎖的といったネガティブな回答がそれぞれ9%、16%と多い。
- 歴史性やシンボル性といった**象徴性は評価されている一方、近寄りがたい存在**と認識している方もいることが明らかとなった。
- 県庁舎を訪れたことがある人の割合は、約7割であった。

問2(1) 現在の県庁舎の印象



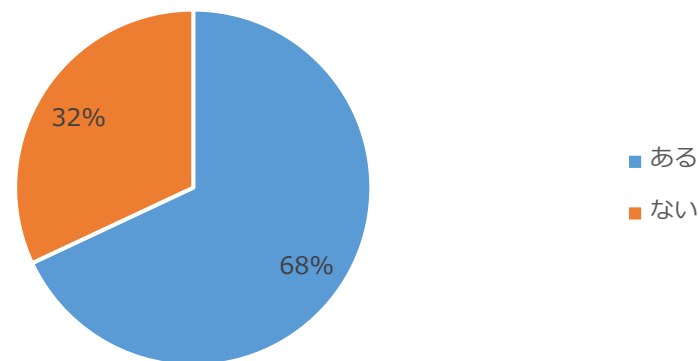
※N=147 複数回答

【主なその他意見】

- 各課が狭く、ゆとりがない。
- 用もなく訪れる場所ではない
- ロビーが狭い、薄暗い
- 殺風景な印象

(複数回答の場合、回答者数を分母とし、項目を選択した人数を分子としているため、合計は100%にはならない。以降の質問に関しても同様。)

問2(2) 県庁舎を訪れたことがあるか

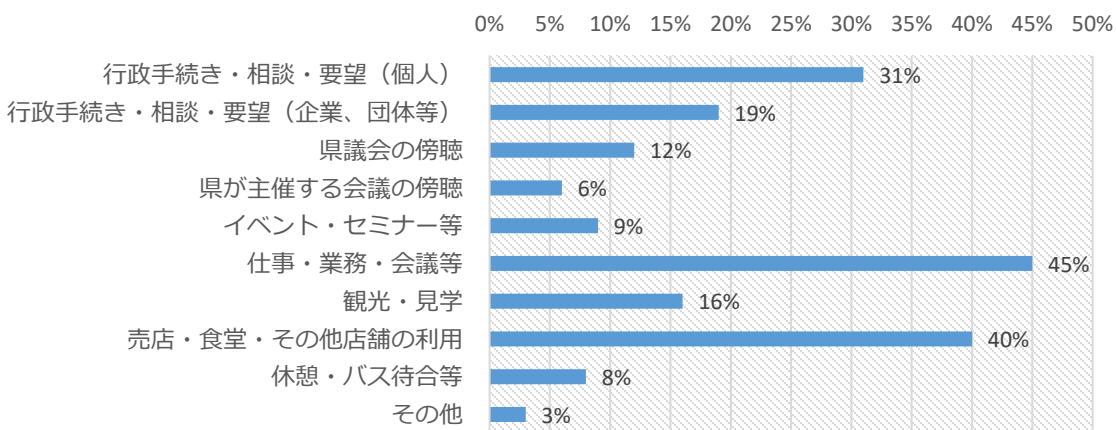


※N=147

集計・分析②：問2 現在の県庁舎に対する印象 2/3

- ・ 一番多い来庁目的は、約3～4割の方が仕事や会議、行政手続き等で訪れている。
- ・ 一方、**4割の方はテナントの利用を目的**として訪れており、**少数ではあるが見学、休憩やバス待合等**、行政手続き以外の利用もされていることが分かった。
- ・ **来庁頻度は5年以下**が最も多く、目的が無い限り、来庁する機会は無いことが推定される。

問2(3) 来庁目的

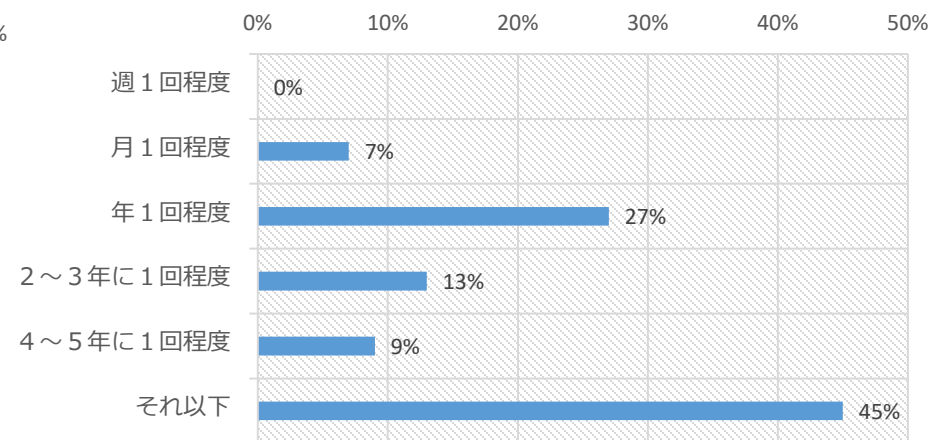


【主なその他意見】

- ・ 身体障がい者トイレの利用
- ・ 他県の県庁は外を眺め、滞在できる場所がある

※N=100 複数回答
(県庁舎を訪れたことがある方)

問2(4) 来庁頻度

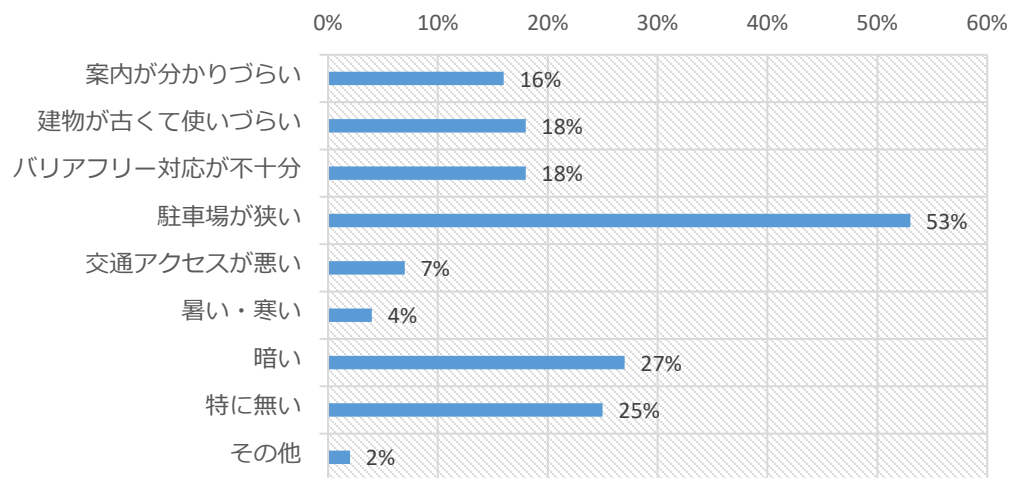


※N=100
(県庁舎を訪れたことがある方)

集計・分析②：問2 現在の県庁舎に対する印象 3/3

- 現庁舎で不便に感じることで、5割の方は駐車場の狭さを不便と感じており、駐車可能台数が少ないこと、駐車区画自体が小さいことが原因と想定される。また、この結果から車を利用して来庁される方も多いことが推定される。
- 次いで、庁舎内の暗さがあげられているが、節電のため、エレベーターホールや廊下の照明を間引いていることが影響していると推定される。

問2(5) 現庁舎で不便に感じたこと



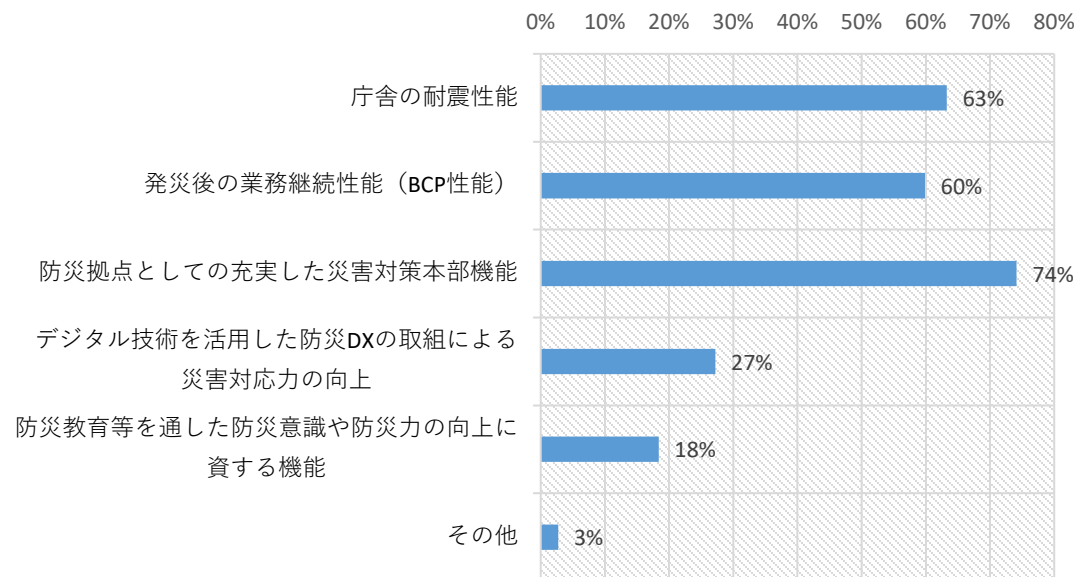
※N = 100 複数回答

(県庁舎を訪れたことがある方)

集計・分析③：問3 基本理念の実現に向けて期待すること 1/4

- 防災に係る基本理念においては、約6割～7割の方が耐震性能や災害対策本部としての機能など、**ハード面の性能に期待している**ことが分かった。
- 防災DXの取組に期待する方は約3割、防災教育や防災意識啓発等に資する機能について期待する方は約2割程度と低い結果となった。

問3(1) 防災に係る基本理念の実現に向けて 期待するもの



※N=147 複数回答

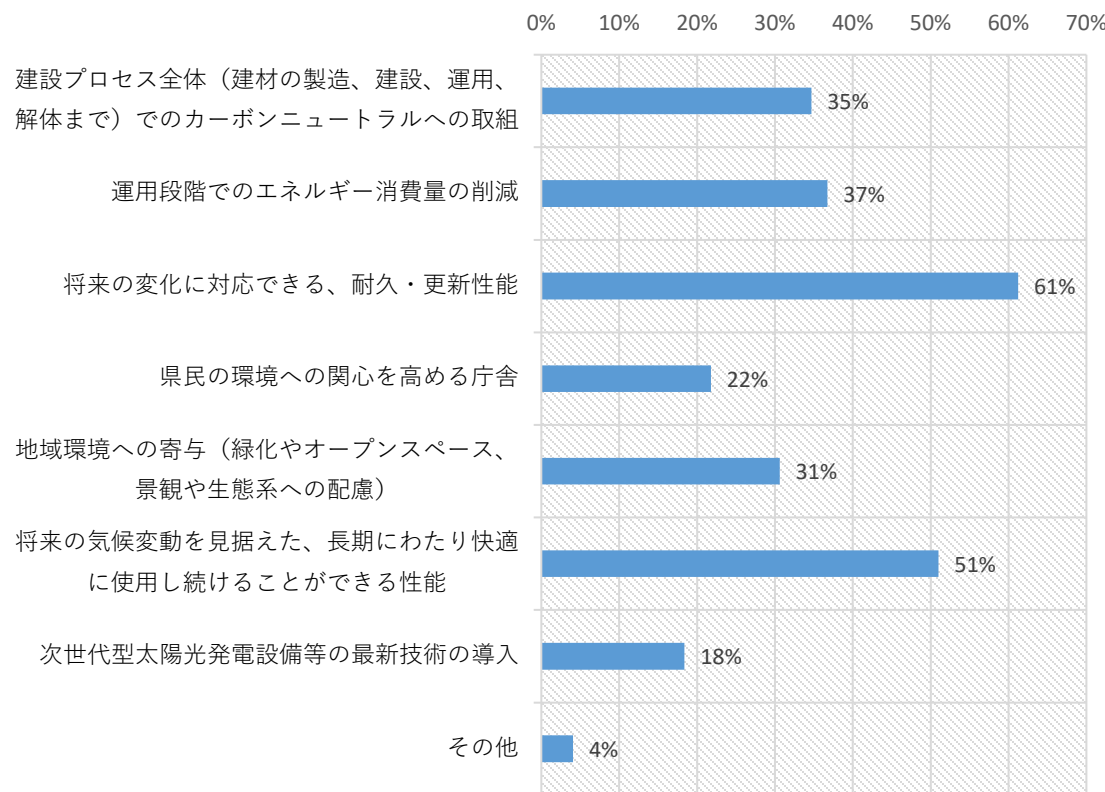
【主なその他意見】

- 発災時は指示処点となるため、交通の便が良いところにすべき

集計・分析③：問3 基本理念の実現に向けて期待すること 2/4

- 環境に係る基本理念においては、**将来変化や気候変動を見据えた性能**を期待する方が5～6割と多いものの、最新技術の導入に対する期待は低いことが分かった。
- 約3～4割の方はカーボンニュートラルやエネルギー消費量の削減等、環境負荷への低減に関する項目に期待をしている。

問3(2) 環境に係る基本理念の実現に向けて期待するもの



【主なその他意見】

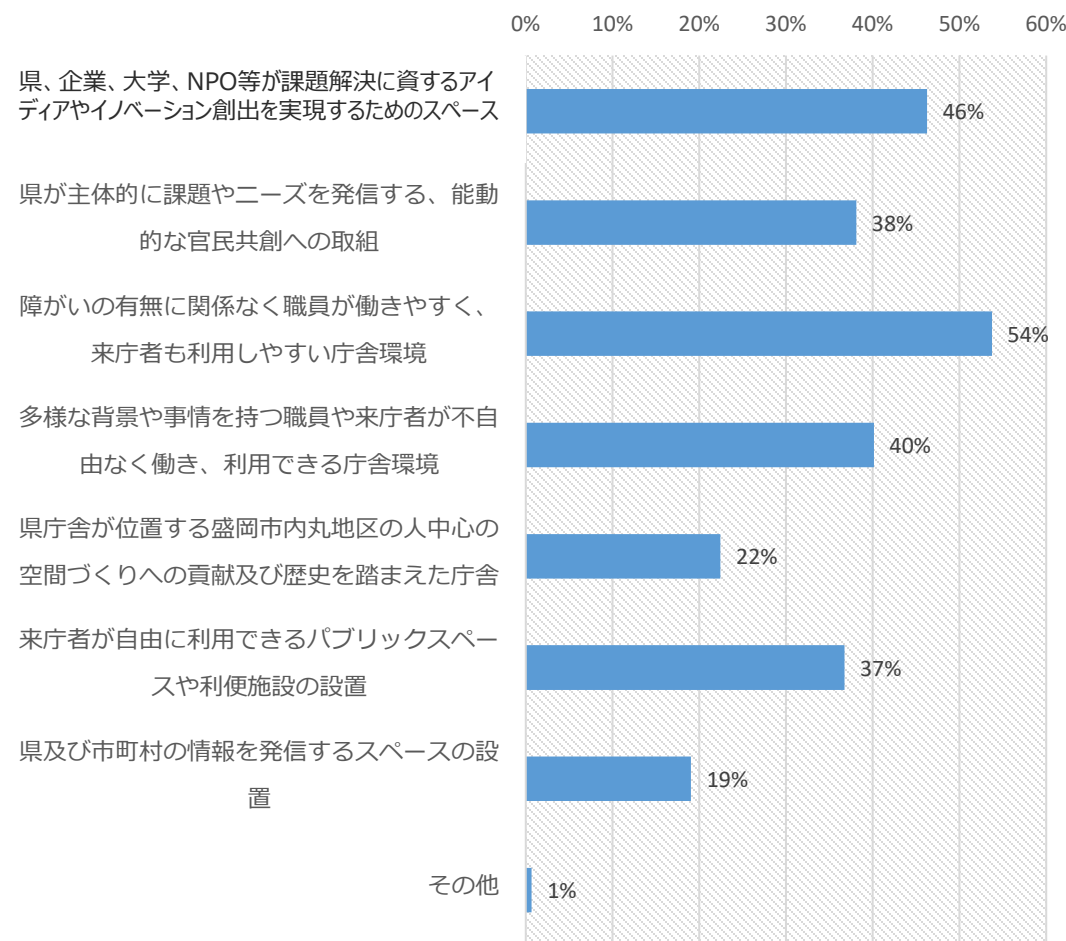
※N = 147 複数回答

- 水素エネルギーを利用推進
- 宮城県庁の花時計など、シンボリックなものの設置

集計・分析③：問3 基本理念の実現に向けて期待すること 3/4

- 協働の理念に期待する項目として、**バリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮**に関連する項目が最も多い結果となった。
- 約半数の方が、**課題解決やイノベーション創出を実現するためのスペース**に期待しており、協働・共創に資するスペースへの関心の高さが明らかとなった。
- 内丸地区への貢献や、情報発信スペースへの期待はいずれも約2割と少なかった。

問3(3) 協働に係る基本理念の実現に向けて期待するもの



【主なその他意見】

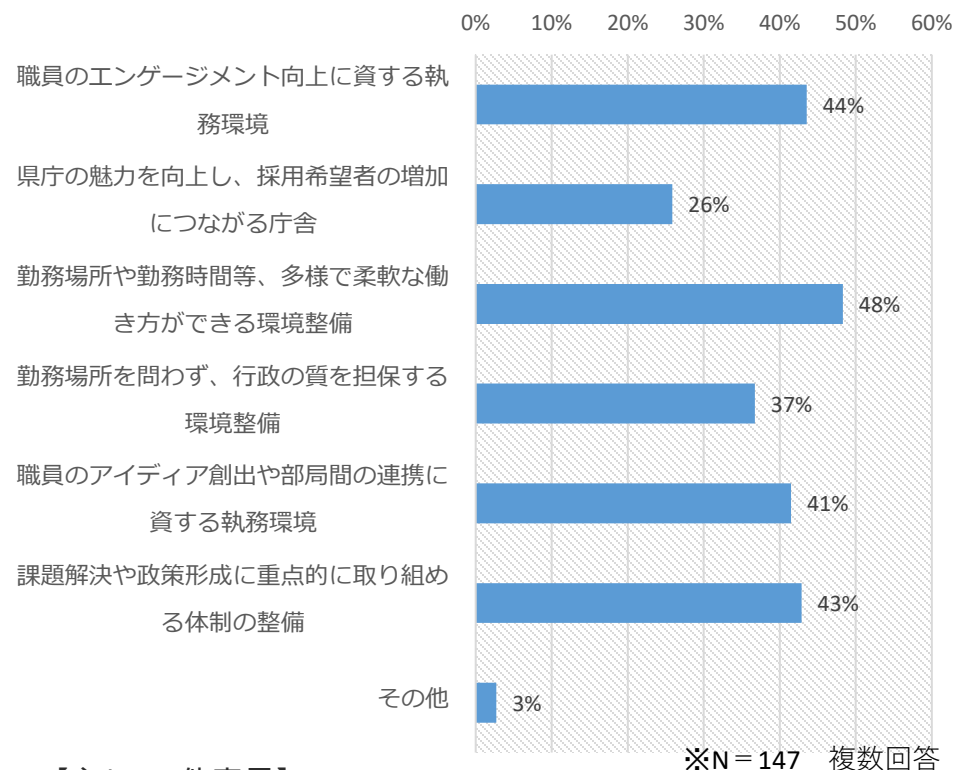
※N = 147 複数回答

- 県が全面に出るのではなく、市町村が主体となる庁舎

集計・分析③：問3 基本理念の実現に向けて期待すること 4/4

- 働き方に関して、期待が一番大きい項目としては、**場所や時間を選ばない働き方**が望まれる結果となった。
- その他の項目に関しては、**採用希望者の増加につながる庁舎という項目のみ期待が少なく**、それ以外の項目は大きな差が出なかった。
- これは、職員の働き方の変革・改善全般に対し、一定の期待があると認識されているものと思慮される。

問3(4) 働き方に係る基本理念の実現に向けて期待するもの



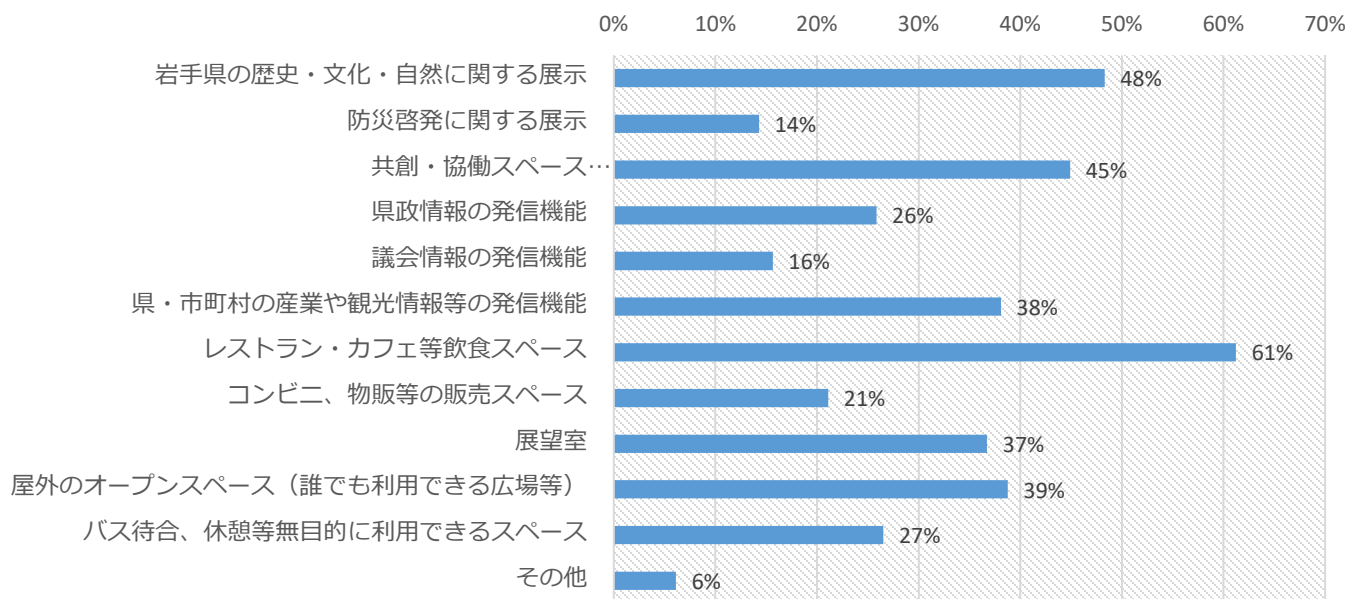
【主なその他意見】

- まずは「人」ありき
- 現場を切り盛りする方々が元気に笑顔、働き、語り、行動力につながれば、それで良い
- 縦割り行政の解消と横の連携

集計・分析④：問4 どのような機能があれば県庁舎を訪れたいか

- 飲食に関するスペースは約**6割**の方が選択しており、問2(3)の県庁舎を訪れた理由においても、約4割の方は食堂や店舗等のために訪れていることから、飲食スペースは県民が県庁舎を訪れるきっかけの一つと考えられる。
- 問3(3)の協働に関する理念の実現において、県や市町村の情報を発信に期待する方は少数であったが、本設問においても県政情報や議会情報の発信機能への期待は比較的少数である一方、約半数の方は岩手県の歴史・文化・自然といったことに関する展示スペースを選択している。
- 共創・協働スペースを選択する方も**45%**と、一定の関心をもたれていることが分かった。
- 展望室やオープンスペースといった、気軽に立ち寄り、滞在できる機能についても**4割**の方が選択している。

問4 県庁舎にどのような機能があれば訪れてみたいか



※N=147 複数回答

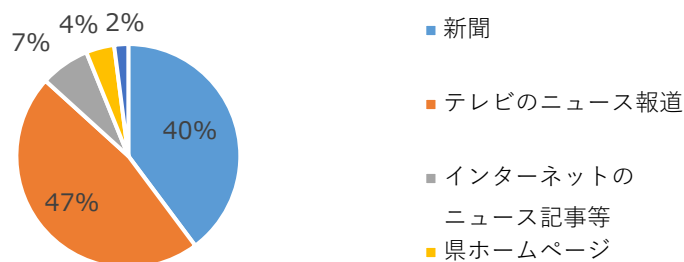
【主なその他意見】

- 行政機能が充分であればそれ以上は必要ない
- 路線バスが1Fの中に入り、雨も関係なく快適で用事を済ませることができるなど。
- 駐車場が有料となると、用事がなければ行かない。
- 親子で来られる場所、県庁舎やお仕事探訪など、子供、学生、お年寄りまでが見学などができる機能
- 駐車場

集計・分析⑤：問5 再整備に係る興味や情報発信について 1/2

- 県庁舎の再整備を検討していることに関する認知度は約6割であった。
- 知ったきっかけはテレビ、新聞が大部分を占めており、情報発信をしやすい県HPは約4%と情報へのファーストコンタクトの観点からは効果が薄いことが分かった。
- 情報発信媒体は、テレビに次いで広報誌での発信を希望している方が多いため、マスコミへの情報提供を継続するとともに、今後、広報誌への検討の進捗状況等の掲載を行うことも検討する。
- その他、説明会の開催を希望する声は少なかった。

問5(2) 県庁舎の再整備はどのメディアで知ったか



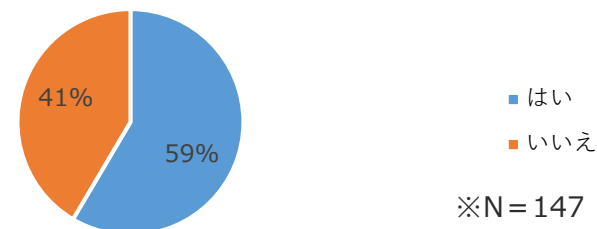
※N = 86

(1つの選択肢を選ぶ設問であるが、複数選択した方もいるもの)

【主なその他意見】

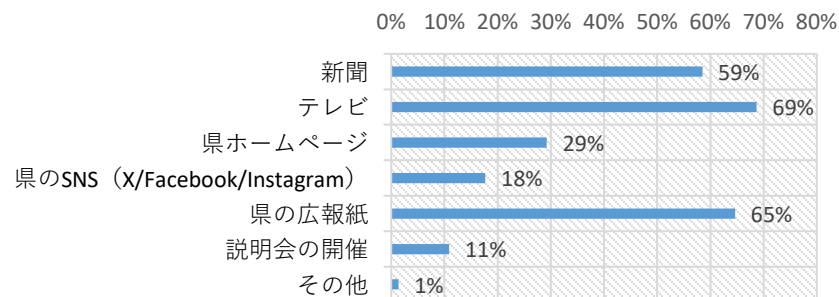
- 県のSNS

問5(1) 県庁舎の再整備を検討していることを知っていたか



※N = 147

問5(3) 県庁舎の再整備の検討状況を発信して欲しい媒体



※N = 147 複数回答

【主なその他意見】

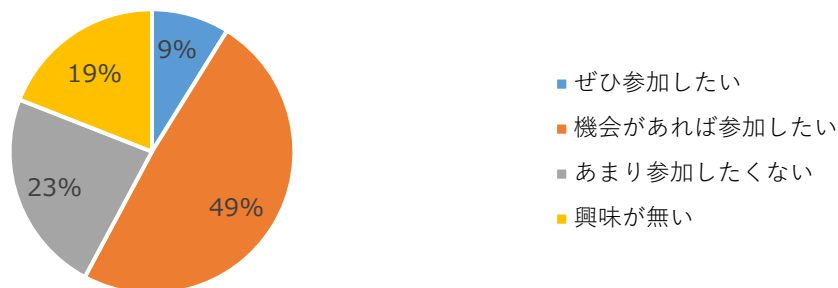
- YOUTUBE動画を各市町のLINEで発信することで、双方向の議論醸成を促すような形を望む。
- ラジオ

集計・分析⑤：問5 再整備に係る興味や情報発信について 2/2

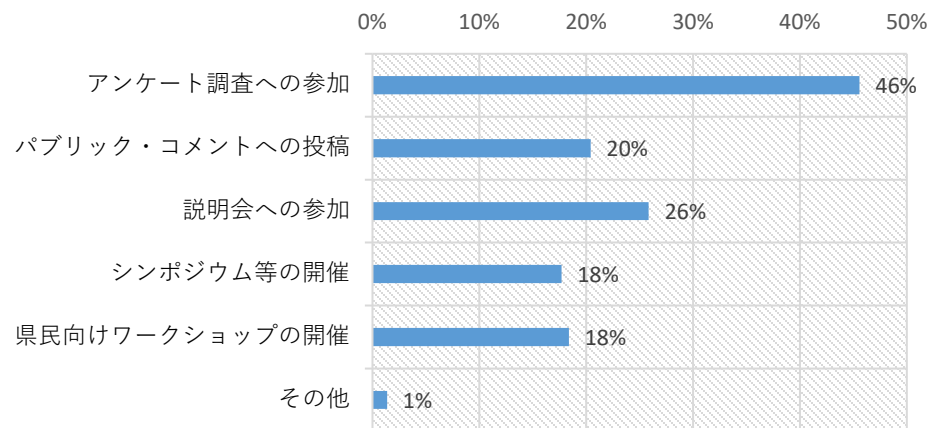
- 整備プロセスへの参加について、約1割の方は「ぜひ参加したい」、5割の方は「機会があれば参加したい」とあり、**約6割の方は県庁舎の再整備に一定の関心**があることが分かった。
- 整備プロセスへの参加方法に関する希望は、アンケート調査への参加が約半数と最大であったが、これは希望郷いわてモニター制度を活用したためと思慮される。
- 問5(3)においては、情報発信の方法として**説明会の開催**を希望する方は1割と少数であったものの、整備プロセスの参加方法としては、**26%の方が希望**している結果となった。
- ワークショップを選択した方も2割**おり、主体性が求められるプロセスへの参加を希望する方もいることが分かった。

問5(5) 整備プロセスの参加方法

問5(4) 県庁舎の再整備プロセスに参加したいと思うか



※N = 147



※N = 85 複数回答

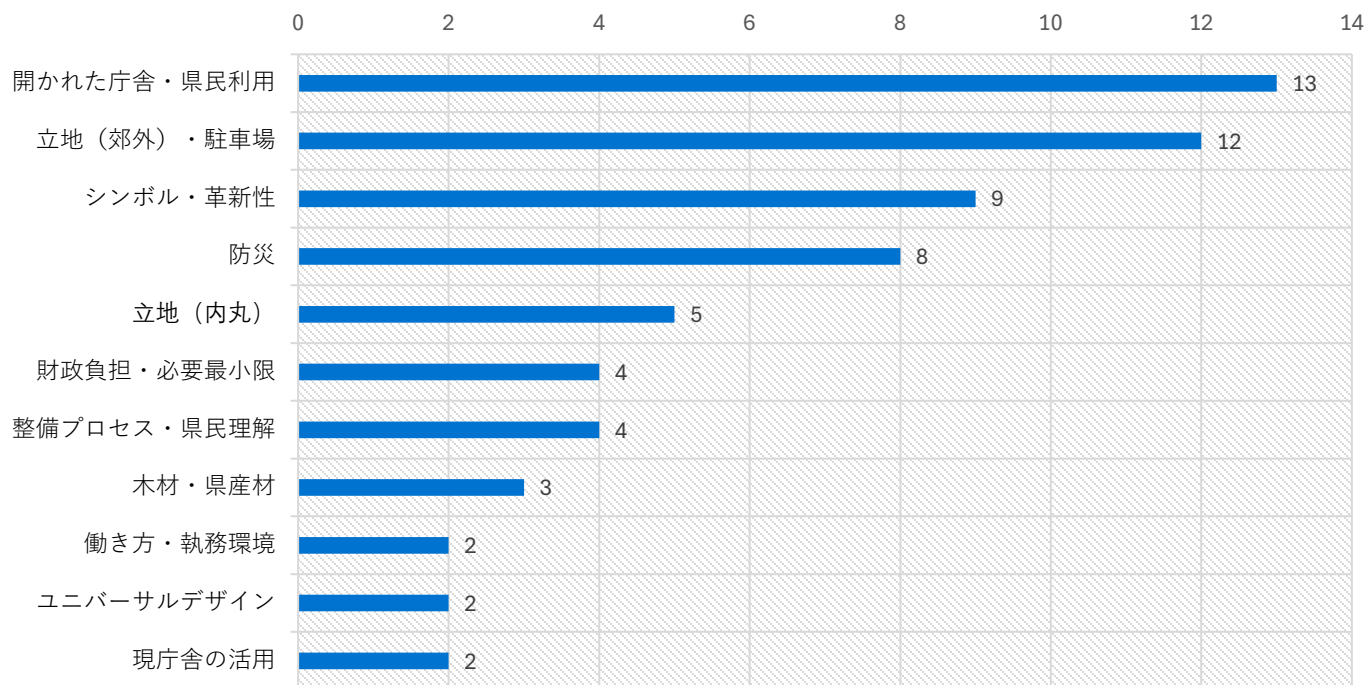
【主なその他意見】

- SNSなどを利用してブロードリスニングなどの手法を用いながら、県民の意見を吸い上げるシステムを用いて、自然と整備プロセスに参加している人を増やしてほしいですし、私もそうした形で参加したいと思います。
- 県のグッズをプレゼントする等、楽しめるイベントの機会

集計・分析⑥：問6 再整備に関する意見等（自由記載）

- 再整備に関して、自由記載の意見を求めたところ、59人から回答があった。
- 幅広い意見があったが、県民として気軽に利用できる居場所や機能を持つことや、親しみのある県庁舎であって欲しいという意見が最も多かった。
- 次いで、郊外等への立地の検討をすべきとの意見も多くあったが、大部分は駐車場が狭いという理由からであった。
- その他少数ではあるが、県民から理解を得られる整備プロセスや、現庁舎の保存活用、市役所との連携を求める声があった。

問6 再整備に関する自由意見の主な内容



※N＝59 自由意見の主な内容を分類し、集計したもの。複数の内容に触れている場合は、それぞれ計上しているもの。

まとめ①

現在の県庁舎に対する印象

- ・ 歴史性やシンボル性といった象徴性は評価されている一方、近寄りがたい存在と認識している方もいることが明らかとなった。
- ・ 来庁目的は、仕事や手続きで訪れる方が最多である一方、4割の方はテナントの利用を目的として訪れており、少数ではあるが見学、休憩やバス待合等、行政手続き以外の利用もされていることが分かった。
- ・ 来庁頻度は5年以下が最も多く、目的が無い限り、来庁する機会は少ないことが推定される。
- ・ 5割の方は駐車場の狭さを不便と感じており、駐車可能台数が少ないこと、駐車区画自体が小さいことが原因と想定される。次いで、庁舎内の暗さがあげられている。

⇒ **県庁舎は県の象徴である一方、県民にとっては遠い存在であることが分かった。その要因としては、施設の不便さが一つの要因であると思慮される。**

基本理念の実現に向けて期待すること

- ・ 防災に係る基本理念においては、約6割～7割の方が耐震性能や災害対策本部としての機能など、ハード面の性能に期待していることが分かった。
- ・ 環境に係る基本理念においては、将来変化や気候変動を見据えた性能を期待する方が5～6割と多いものの、最新技術の導入に対する期待は低いことが分かった。
- ・ 協働の理念に期待する項目として、バリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮に関連する項目が最も多いが、約半数の方が、課題解決やイノベーション創出を実現するためのスペースにも期待しており、協働・共創に資するスペースへの関心の高さが明らかとなった。
- ・ 働き方に関しては、採用希望者の増加につながる庁舎という項目のみ期待が少なく、それ以外の項目は大きな差が出なかった。

⇒ **防災拠点としての堅牢さと持続可能な環境性能、誰もが利用しやすい共創の場、そして職員が働きやすい環境を備えることが期待されていると思慮される。**

まとめ②

どのような機能があれば県庁舎を訪れたいか

- 飲食に関するスペースは約 6 割の方が選択しており、飲食スペースは県民が県庁舎を訪れるきっかけの一つと考えられる。
 - 県政情報や議会情報の発信機能への期待は比較的少数である一方、約半数の方は岩手県の歴史・文化・自然といったことに関する展示スペースを選択している。
 - 共創・協働スペースを選択する方も45%と、一定の関心がもたれていることが分かった。
 - 展望室やオープンスペースといった、気軽に立ち寄り、滞在できる機能に期待する方も4割の方が選択している。
- ⇒ **行政手続きの場にとどまらず、飲食や展示、交流を通じて、気軽に立ち寄り、滞在できる開かれた庁舎としての在り方を期待していると思慮される。**

再整備に係る興味や情報発信について

- 情報発信媒体は、テレビに次いで広報誌での発信を希望している方が多いため、マスコミへの情報提供を継続するとともに、今後、広報誌への検討の進捗状況等の掲載を行うことも検討する。
 - 整備プロセスへの参加について、約6割の方は県庁舎の再整備に一定の関心があることが分かった。
 - ワークショップを選択した方も 2 割おり、主体性が求められるプロセスへの参加を希望する方もいることが分かった。
- ⇒ **県庁舎再整備に関して一定の関心は得られており、多くの方はテレビや新聞等での分かりやすい発信を求めつつ、説明会やワークショップを通じて主体的に関わりたいと考えている方も一定数いると思慮される。**

参考：問6 自由記載内容（原文のまま掲載） 1/5

1	日中、行き場のないお年寄りがいる場所 バスの本数が激減した今、バスを待つ間のお年寄り 子育てに孤立する若いパパとママ この人たちの受け皿が必要ですよね。 カフェがあってもお金を使ってくれるかどうかはわかりません。
2	県庁舎という特性上、全方位に対して配慮した計画を立てているように思えるが、全てを同質に配慮した企画など成功したためしがない事も考えるべきである。 国や行政の企画はどうしても全方位を意識するが、一方向に特化したプランでなければ企画やアイデアは評価されるものにはならず、「良くも悪くもない」という評価になってしまう。 庁舎などの大型の建物については巨額の予算が動き、この先何十年も存続する事を考えると中途半端な評価に落ち着く事は県民の県政に対する興味を失うきっかけになりかねない。 是非とも岩手県にはこの先数十年と語り継がれるような目だったインパクトのある企画で進めてもらいたい。
3	現在の県庁舎は築60年で建物としての耐用年数50年を過ぎており、その間、修繕や耐震工事等を行い現在に至っていると思います。しかし、近年、異常気象により災害の発生頻度は多く、県全体の防災の司令塔となり、県政の中核となる議会棟も含む県庁舎の再整備は喫緊の課題で、県財政の兼ね合いもあると思いますが、もっとスピード感をもって進めるべきと考えます。県庁舎は県のシンボリック役割を担っており、盛岡藩政時代から盛岡の中心地である内丸地区に再整備を行うことで、周辺が賑わい盛岡の中心地として望ましい姿になるのではないかと思います。 また、現在の県庁舎のキャパシティや庁舎の修繕の関係で入居していない県人事委員会事務局や労働委員会事務局などの県の独立行政委員会の事務局をできる限り集約入居させることで、より県民が利用しやすい県庁舎になるのではないかと思います。 最後に、県庁舎再整備懇話会の構成員についてですが、都市計画、周辺の環境や防災などの専門性があるため県内の大学教授の先生のほかに県外の大学教授の先生にお願いしていることは十分理解できますが、岩手県の庁舎の再整備ですので、県内の関係者で議論されるべきで、県規模の公共的団体の関係者や実際に庁舎で執務をする職員の代表も構成員に入れ、多角的な再整備にかかる検討が必要ではないかと考えます。
4	盛岡の利便性のある場所としてあってほしいと思います。
5	・保育所、幼稚園があれば良い。または、一時あずかり保育(県庁舎に目を向けるために) ・岩手県内の産地地図ゲームコーナー ・レストラン、職員および一般人も食べられるAM11:00~14:00 Aランチ(一日20食) (1食500円~700円県内産地(魚。肉。野菜、使用) Bランチ日替わりデザート(1日20品) 1品200円(スペシャルな味) C県庁舎ランチ(イ) 596(ゴクロー) 円 (ワ) 840(ハヨウ) 円 (テ) 900(クオー) 円 ①(日替わりにする) 一口カツ②またはしょうが焼き(キャベツコールロー山盛りつき)
6	以前に県庁舎に出かけたときには相談事ばかりでありあまり気にしていなかったのですが、地域の役所とは違う趣を感じたのは、県政と言う重さのせいでしょうか。県政に携われるのは、議員と市町村の職員が行政書士なんだろうと、諦めにも似た感覚になっています。 盛岡に住んでいる人は違うのでしょうか。 国民の政治離れは、この行政との距離間によるものではないでしょうか。

参考：問6 自由記載内容（原文のまま掲載） 2/5

7	もちろん他県の見学を入れてるでしょうが、岩手の場合、敷地が決まっているが、医大がなくなるので、思い切って、その土地利用も含めて改修ではなく、思いきって医大敷地と今の敷地で考えてはどうかと思いますが！改修を繰り返してもつぎはぎだらけで使いにくくなっていくばかりかと思います。県庁は人の集まる所、あつまりやすい所、お年寄り景色を見ながらボーっと出来る所にしてほしい。私は孫の応援に年に8～10回県外に出ます。その時は観光もしますが、県庁、市役所等を必ず見てきます。あと図書館と。見たい、見に行きたい県庁を作してほしいです
8	県庁舎の建設にあては、他県のように見世物とする必要はない。機能的でかつ、電力は自家発電でまかなう設備とするべきであろう。又、壁は県産の材木を利用すべきである
9	県庁舎は特定の関係のある人しか訪れる所ではないかと思っていましたが、最近は誰でも立ち寄れるスペースがもうけられている建物が増えています。役所関係の建物もその様な環境にあれば、県や市の行政も親しみやすくなるのかなとおもわれます
10	観光で盛岡を訪れた方や買い物等で盛岡に足を運んだ際に立ち寄ってちょっと休めるクールスポット（もちろん冬も）があるといいと思います。その場所に岩手の歴史や各市町村の観光名所などがわかるような展示があるととてもいいと思います。 県庁は公共施設と言っても用事がなければ気軽に行ってはいけない印象があります。用事がなくても利用したくなる空間・場所を設けてもらえると県民も親しみやすくなるのではないのでしょうか。
11	建設費は県民の税金でまかなわれることなので十分県民の理解を得られた上で実施願います
12	宮城県庁の最上階に障がい者雇用のレストランがある。眺めも良く、対応も良く、障がい者が一生懸命働く姿を見るのも良かった
13	再整備も立地場所は盛岡以外も含めて検討願いたい
14	職員の皆さんが働きやすい環境作りが最も重要で、意見やアイデアなど自由に発言でき、また我々県民も県庁に自然と足が向くような環境で、規律と自由を兼ね備えた県庁で在ってほしいです。 県庁が新しくなっても、人間育成がなっていないのが一番最悪な状況だと思います。 我々県民の代表として他県からも、岩手県の県庁職員は本当に素晴らしいと言われるような誇りをもって職務を遂行していただきたいと思います。 最後の、毎日のお仕事本当にご苦労様です。感謝
15	材料高騰で大変だとは思いますが、木の暖かさを感じられる岩手県らしい庁舎であればいいなと思います
16	莫大な予算がかかる計画であることから慎重に検討頂きたいこと、ともすれば盛岡の方以外や関係者にはあまり実感の伴わない事でもあるので、それをいかに納得していただける整備計画とする事が出来るか
17	災害のときも停電せず県政が運営できる体制をつくってほしい。太陽光、水素発電で電気をまかなう。歩くと発電できるなど
18	広い無料駐車場でなければ用事もないのに行こうとは思えない
19	普段使いすることに気後れしない、親しみを感じる場所になって欲しいです。 そうすることで、災害が起きたときにも使いやすい県庁舎になればと思います。

参考：問6 自由記載内容（原文のまま掲載） 3/5

20	誰でも、気兼ねなく立ち寄れるそんなスペースのある県庁舎も良いのでは、と思います。
21	再整備して長期的に使っていくことになると思うので、耐震性等もそうだが、長期的に県民に愛されるデザインなど工夫して欲しい。 岩手に観光に来た人が寄りたくなるような、人が集まるようなスペースを作ってほしい。 展示スペースだけでなく、カフェスペースや避暑地としても活用できるようにしてほしい。
22	用事もないのに一般人は行くような場所ではないと思ってました。必要があれば地域の合同庁舎出ようが足りるので、このアンケートにちょっとびっくりしました。
23	居住地が県庁にはほど遠く、再整備等についてはテレビ等の情報で得るばかりですが、岩手県のシンボルとして、また県民の命を守る機能が発揮できる県庁舎であることを期待します。
24	市町村役所に比べ、県庁はどうしても訪れる機会が少なくなる。訪れやすい庁舎を作ってほしい
25	基本的に関係ない。 災害時に本部としての機能があれば良い。
26	県庁舎とは、県の顔でもあるし、県の代表的な場所でもあります。他県から来た方にも（もちろん県民は当然ですが）親しみのある、明るく、利用しやすい場所であってほしいと思います。そして、何か災害等の時は、すぐにでも広く、たくさんの方に開かれるようなおおらかで頼りになってくれるような「岩手県庁」であつたら、私たち県民は安心して生活していけると思っています。それから、「待合室」のところにペレットストーブがありましたね。冬の寒い日、バス待ちしているとき、とても暖かくてありがたかったです。ペレットストーブを置いてほしい…。いつまでも置いてほしいです。
27	盛岡市の庁舎も建て替えなど検討しているとみました。 内丸地区は中津川に近く、水害が心配ですが、市の中心地区に行政が集中しているのはいいことだと思います。 市と県での調整もしつつ、未来も見据えての検討をお願いします。
28	県庁は利用しやすく利便性を考えてほしい。又、街中に作るよりは、市外に作った方が利便性が良くなると思います。耕作放棄地や、遊休農地を利用したほうが良いかと思われます。又、盛岡市でなくても良いかと思われます。
29	従来の考え方や、固定観念にとらわれない柔軟な発想、知恵をどんどん出して創意工夫して欲しい。
30	閉鎖的な印象があるので、まず職員の対応態度を改めてほしい
31	県庁舎の再整備にあたり、本庁舎には、本部中枢機能のみ（最低限の幹部職員組織）を残して地方振興局や出先期間に人員を重点配置した方が良いでしょう。再整備については、盛岡市内丸地区ではなくて、矢巾・紫波地域の超広大な敷地を確保の上、出来るだけ低層階（3階以下）で建設し、災害時には、広大な敷地を利用し、ヘリコプター発着場所、県民の避難場所、仮設住宅建設場所、全国の応援部隊駐屯地等々として利活用した方が良いでしょう。
32	ユニバーサルデザイン、アップサイクル(エコ) に特化してほしい
33	県のシンボルとして歴史を感じる庁舎を望みます。できれば、子どもたちにもインパクトあるものであってほしい
34	盛岡市役所新庁舎になるのであれば、当然、県庁舎も早く新庁舎にしてほしいと思います

参考：問6 自由記載内容（原文のまま掲載） 4/5

35	私は盛岡市で生まれました。小学校時代に新しい県庁が完成し、家族で見に行ったような記憶があります。古くなり、時代にあった庁舎は必要です。盛岡市庁舎と共に関連づけた設置を希望します。
36	駐車場を確保できるような場所や環境に庁舎を作るような考えとすべきである。市中心部でなくても良いと思う
37	点字ブロックの整備もお願いしたい
38	移転新築に関して他の地方自治体で取り組んでいない全く斬新な機能を兼ね備えた新庁舎を望みます。
39	必要最小限でいい。
40	県民に負担がかからない様に検討してほしいです
41	県民が安全・安心して利用することができる庁舎となるよう希望します
42	県民はもちろんですが、そこで働く職員の方々が気持ちよく働ける環境があること、県民も行ったら休めるとか行きたくなる様な清々しい県庁であってほしい。中も外もきれいな県庁クリーンな県庁。医大の帰り、タイミングが合えば県庁の食堂でランチをしてきました。おいしかったですよ。安いし！！
43	デザイン性を重視するのではなく、機能性を重視してほしい。 岩手県を中心に位置している利点を生かし、防災拠点の役割も必要なのでは？と思います。
44	岩手の顔でもあるので、お洒落な建物になってほしいですが、時代の変化もあるので、それに対応したコンパクトな感じで良いのではと思います
45	広く止めやすい駐車場が周辺にあると良い。
46	現庁舎は街中にあり公共交通機関の利便性、関係省庁出先機関も隣接し利用しやすい場所にありますが庁舎自体の耐震構造含め建物の老朽化、来客用駐車場の不足等々、数々の問題も指摘されています、これらの事からも県庁舎移転新築（改築）は必然に思われます。 候補地としては広大な土地の確保が必須、県民が利用しやすい公共交通機関の利便性が良い所、市街地または市街地に近い所、新幹線利用が容易な場所等、以上を考慮すると盛岡西南地区が移転場所最適地と思われるが如何でしょうか？（素人の安易な勝手な意見ですご容赦ください）
47	最低限の機能の確保と県民の負担軽減を、バランス良くはかって欲しい。
48	・来客用駐車場と職員用駐車場のスペースをきちんと確保し、来客用は無料で、会議や用務の時間中はずっと駐車できるようにしてほしい。・文書の保管庫スペースを十分に確保し、文書保存がしっかりとでき、職員の勤務スペースがゴチャゴチャしないようにしてほしい。・「基本構想のための意識調査」とのことだが、まず、「今の時点で、いつ頃、どこに、どのようにどんなものを、何のため」造るのかを簡単でもいいので、アンケートの添付資料として示してほしいと思います。特に、盛岡（県庁所在地）以外に住んでいる者には県庁に行くこともよっぽどの用事がないと行かないと思うし。よく判らないことが多いと思いますので。
49	多額の税金を投入されると思うので、働く人に限らず、利用者・県民・県外の方々にも利用され受け入れられる庁舎であってほしいので、幅広い意見や希望を聞き出来れば取り入れられ完成されることを希望します。
50	駐車場スペースが必要。内丸地区の整備計画に併行した再整備と県民が訪れやすい場としての環境整備が大切です。

参考：問6 自由記載内容（原文のまま掲載） 5/5

51	災害等の発生時、中枢となる機関なので、災害に強い建物にして欲しいです。 岩手県の行政の中心となるので、県民が気軽に利用できる様々な機能があれば良いとは思いますが、これからの人口減少を考えると、あれも、これも、ではなく、付加する機能を絞り込む必要があるように感じています。 県庁を訪れるさい、公共交通機関が利用しやすいこと。また、自家用車利用者としては、ある程度の広さがある駐車場を整備して欲しいし、近くに利用出来る駐車場も必要だと思います。
52	広い敷地の場所へ建ててほしい（医大のように）
53	愛着のある今の県庁舎をできる限り活かす再整備をしていただきたいです
54	岩手県の魅力が発信できる県庁舎を望みます。
55	内丸界限の大プロジェクト整備順調に進むこと願ってます
56	準備段階から県民の意向を聴取できる場が必要である
57	歴史ある建築物でもあるので（私が小学生の頃からあるので）可能であれば、外枠だけ残して、改装作業をしていただければ、いいのかなと思っています。
58	外観または敷地内に「岩手県らしさ」を出していただきたいです。 広い県内、盛岡から離れた地域の子どもたちでも、県庁といえば〇〇と言える「何か」。 それが岩手県のPRになると思います。 以前、東北銀行が管理する花時計に「とふっち」がいました。 花時計が県庁にもあれば素敵なのに…と感じています。わんこきょうだいシリーズで 内丸に配置。
59	内丸地区にこだわらず、郊外に出た方がよいのでは？と思います。